

市内の節分会 2月2日



疫病退散の祈りを込めて

124年ぶりに2月2日となった今年の節分。新型コロナウイルス感染症の流行もあり、五穀豊穡のほか疫病退散を祈願する節分会が市内で行われました。成田山新勝寺では、著名人の参加を取りやめるなど例年より規模が縮小されましたが、年男・年女が「福は内」の掛け声とともに勢いよく豆をまきました。滑川にある龍正院では、住職による豆まきが行われ、一年の福を願って訪れた人たちには豆やお菓子のお福分けがありました。



①大本堂前で記念撮影②回廊から「福は内」③本堂内にお経が響き渡る④境内には福を求める人々が(①②成田山新勝寺③④龍正院)

なりた環境セミナー 1月30日



印旛沼の歴史と自然を学ぶ

印旛沼を通じて成田の環境について考えてもらおうと「なりた環境セミナー」が中央公民館で開催されました。全3回のうち初回のこの日、参加者は江戸時代から続く治水対策や印旛沼の環境などについて、当時の社会情勢を交えて学びました。参加者の一人は「印旛沼の治水の経緯が分かり勉強になった。いま一度、水質などの環境について考えたい」と話していました。



興味深い講義に聞き入る

全国広報コンクール



広報なりたが2年連続で推薦

令和3年全国広報コンクール千葉県選出作品審査の広報紙部門で「広報なりた」が推薦作品に選ばれ、全国広報コンクールの同部門へ進みました。対象となったのは広報なりた令和2年12月1日号で、特集「高齢者の生きがいづくりと健康」などを掲載しました。今後も皆さんに愛され、役立つ広報紙づくりを心掛けていきますのでよろしくお願いします。



推薦作品となった令和2年12月1日号



チョコレートレイでバレンタイン 2月6日



色鮮やかな首飾りが完成

バレンタインを前にチョコレートを使った工作を楽しんでもらおうと「チョコレートレイでバレンタイン」が子ども館で行われました。子どもたちは細長いビニール袋とチョコレート、モールなどを使って首飾り作りに挑戦。モールを巻き付けたり、リボンを結んだりする細かい作業に苦戦する姿もありましたが、最後には個性豊かな作品を作り上げていました。教室には、カラフルなチョコレートレイを手にした子どもたちの笑顔が溢れていました。



①ひもをしっかり結んで②指導員の説明を聞く子どもたち③難しい作業はさようだいで④自慢の作品が出来上がり

手作りのおひなさま展 2月6日～3月7日



個性溢れる作品が集まる

ひな祭りをテーマとした手作り作品を展示する「手作りのおひなさま展」がスカイタウンギャラリーで開催されています。会場にはちりめんや折り紙、粘土などのさまざまな素材を生かした作品が並び、来場者は手作りならではの温もりのある作品に見入っていました。来場者の一人は「温かさが伝わる素敵な作品がたくさんあって楽しめた」と話していました。



粘土でできたかわいらしい作品

暮らしを彩る器づくり 2月10日



出来上がりをイメージしながら

普段使いできる自分好みの器を作ろうと、陶芸教室「暮らしを彩る器づくり」が三里塚コミュニティセンターで行われました。全4回のうち初回のこの日は、手びねりという技法で器の形作りに挑戦。参加者は悪戦苦闘しながらも慎重に形を整え、皿やマグカップなどを作りました。湯飲みを作った男性の参加者は「完成したら夫婦で使いたい。大きい方は自分が使おうかな」と楽しそうに話していました。



指先に神経を集中して